テーマ①　資料提供の工夫

書架を新しくしました！

岩国市立灘小学校

学校図書館訪問と平湯文夫先生の研修を受け、書架を新しくしました。視線を遮らない、木のぬくもりのある素敵な書架です。卒業記念品として年次的に学校図書館に入れていただいています。校区内のヤマシタ装建さんに作っていただきました。とてもコンパクトになっていますが、今までと同じ量の本を配架することができます。職員にも児童にもとても好評です。

テーマ①　資料提供の工夫

サランラップの芯を使った本の展示

山陽小野田市立厚陽小学校

絵本はやっぱり表紙を見せたいですよね。絵本の書架の一番上の段を、絵本の表紙を見せて展示するようにしています。奥行きが浅いのでずり落ちないようにサランラップの芯を使って作ったストッパーを作りました。

サランラップの芯を色画用紙や布などでくるみ、土台に貼り付けます。土台はダンボールや厚紙。接着は色画用紙などの紙の場合は両面テープでもＯＫ。布の場合は木工ボンドを使用しました。

壁際などで本を立てかけ、表紙を見せて展示をするときに使えます。

テーマ①　資料提供の工夫

職員室に出張図書館コーナー

山陽小野田市立高千帆小学校

日々多忙な先生方に、職員室にいながら気軽に資料を目にしてもらえるよう、職員室後ろの棚の一角にミニライブラリーのコーナーを作った。・授業で活用できそうなもの・先生を通して子どもに届きそうなもの・仕事の合間にひと息ついてもらえそうなものをキーワードに棚作りをしている。

テーマ①　資料収集・保存の工夫

新聞コーナーを設置

柳井市立柳井小学校

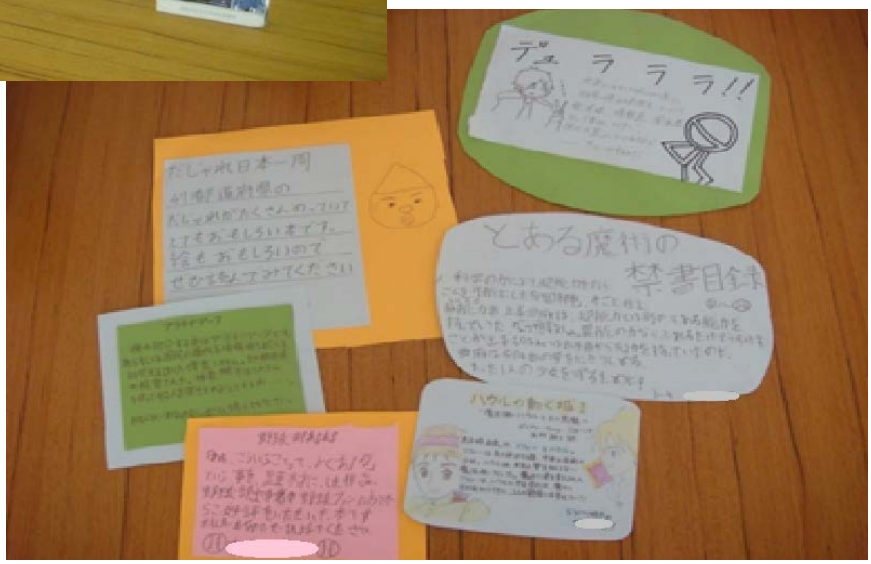
百円ショップの収納グッズを利用

新聞のバックナンバーを百円ショップで購入した「小物収納」グッズに入れて掲示している。

テーマ①　資料提供の工夫

図書紹介カードでお薦めの本の紹介をしよう

宇部市立常盤中学校



本校には図書委員会があり、朝の読書の時間や昼休みの図書室運営、長期休業中の作業等を行っている。１学期に、「図書室をもっとみんなに知ってもらおう」という活動を実施し、その際各クラスの図書委員により、上記写真の活動をした。１人一作品以上の紹介カードを書き、図書室の新刊を展示している大テーブル上に推薦する本と一緒に展示した。全体で２０作品以上のものが展示できた。すぐに貸し出される本も多くあった。本好きの生徒やレイアウトの上手い生徒のカードは、読み応え、見応えのする作品に仕上がった。この活動は、今後も続けていきたいと考えている。

テーマ①　資料提供の工夫

本屋大賞のコーナーを作る

宇部市立西岐波中学校図書館

生徒が本を選ぶときの参考になればと考え、２００４年～２０１３年の本屋大賞となった本を購入し、目立つところに並べている。

また、本屋大賞のチラシも、あらすじも書いてあり、わかりやすかったので、ラミネートして掲示している。

テーマ①　　資料提供の工夫

見出しの工夫

宇部市立川上中学校

「図書館を生き返らせる」シリーズ№.４を参考にして作成。
補強のためにラミネートをかけた。

生徒たちにとって利用しやすい図書館にするために、見出しを作って、本を探しやすくした。利用の多い小説・物語の作家名から設置を始めた。焦らずに小さい目標を持って少しずつ、しかし、確実に、快適な空間づくりを目指していくことが大切であると思っている。

テーマ①　資料提供の工夫

校長室前に設置した「新刊・話題図書」コーナー

宇部市立桃山中学校図書館

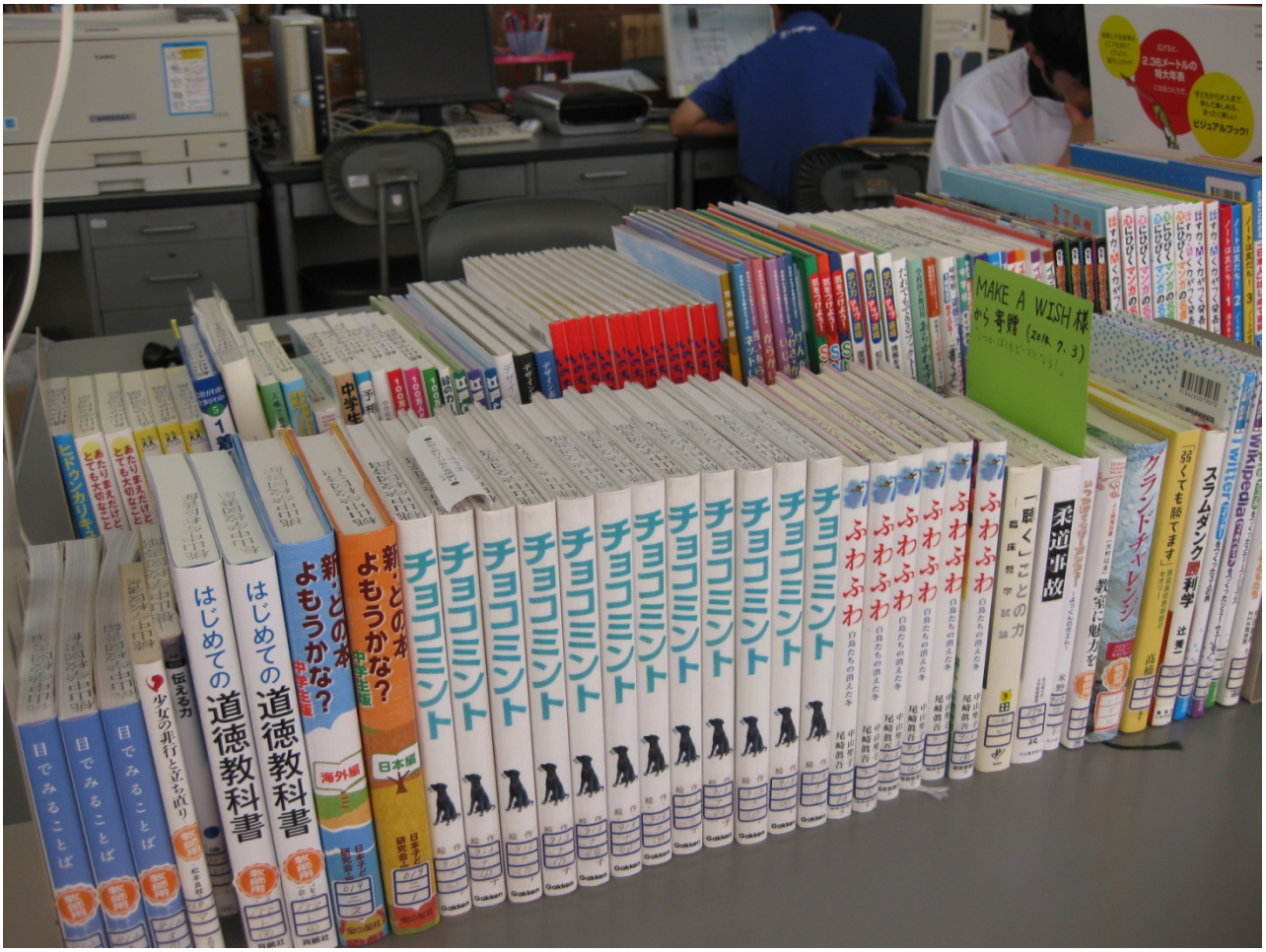
校地が２万坪もある桃山中学校では、生徒棟と図書館が遠いので、図書館から生徒の足が遠のき気味です。そのためいろいろ悩みましたが、「そうだ！　図書館の本を図書館から出して、生徒が手に取りやすい所に置こう！」という取り組みを始めました。

この写真の展示場所は校長室のそばにありますので、生徒だけでなく教職員も通行途中で立ち読みをしてます。本を大切にする気持ちも高まりました。

テーマ①　資料提供の工夫

職員室内に設置した教師用図書コーナー

宇部市立桃山中学校



校地が２万坪もある桃山中学校では、生徒棟・管理棟と図書館が遠いので、図書館から生徒だけでなく教職員の足も遠のき気味です。そのためいろいろ悩みましたが、今年の夏休みは、図書館の本の中から教職員用の図書をピックアップし、職員室内に図書コーナーを設置しました。先生方が、いろいろな本を手に取ってくださっています。

テーマ①　資料提供の工夫

宇部市在住の児童文学作家・中山聖子さんのコーナー

宇部市立桃山中学校

宇部市在住の児童文学作家・中山聖子さんのコーナーです。新館１階の図書館前に設置しています。高校１年生の学年では、中１のころから道徳の授業で中山さんの著書を教材にして自分の生き方を考える機会をもち、感想文を中山さんに送って交流を深めました。今年は、９月の人権教育講演会の講師として中山さんをお招きし、いのちについてお話をしていただくことになっています。

テーマ②　資料収集・保存の工夫

パンフレットの利用

山陽小野田市立厚陽小学校

県内各市町に関するパンフレット類を学習に利用できるようにしています。

各市町に分け、古封筒に市町名と県の地図を印刷したものを貼り、その市町の位置に色をつけています。

いろいろなパンフレットは、公共図書館が取り寄せたものをいただいたり、教職員に呼びかけたりして収集しています。

テーマ②　資料収集の工夫

国語の本に出てくるお話

柳井市立柳井小学校

国語の教科書に取り上げられている本を学年ごとにまとめている。
子どもたちの中には、このコーナーにきて自分の学年のところから、本を選ぶ子もいる。
先生方には、教科の内容とすぐにリンクしてわかりやすいと好評。

テーマ③　利用環境改善の工夫

蜂の巣を展示

柳井市立柳井小学校

子どもたちは、「コレ、本物？」　「うわぁ、本物だ！！」とびっくり！

一緒に展示している関連の本を借りていく子も多い。

テーマ③　利用環境改善の工夫

アリスも座る窓辺のソファー

山陽小野田市立有帆小学校

平成２５年度６年生の卒業制作「アリス・イン・ワンダーランド」が力作だったので、担任教諭の承諾を得て、学校図書館用にレイアウトしました。

窓辺のソファーの横で、イスに座ったアリスが子どもたちをむかえています。

休み時間、ソファーは大人気です！

テーマ ③　　利用環境改善の工夫

図書室の机を利用して展示コーナーを作りました！

平生町立平生小学校

～閲覧机をひとつ減らして、低書架を移動し、場所を作って展示コーナーを作りました～

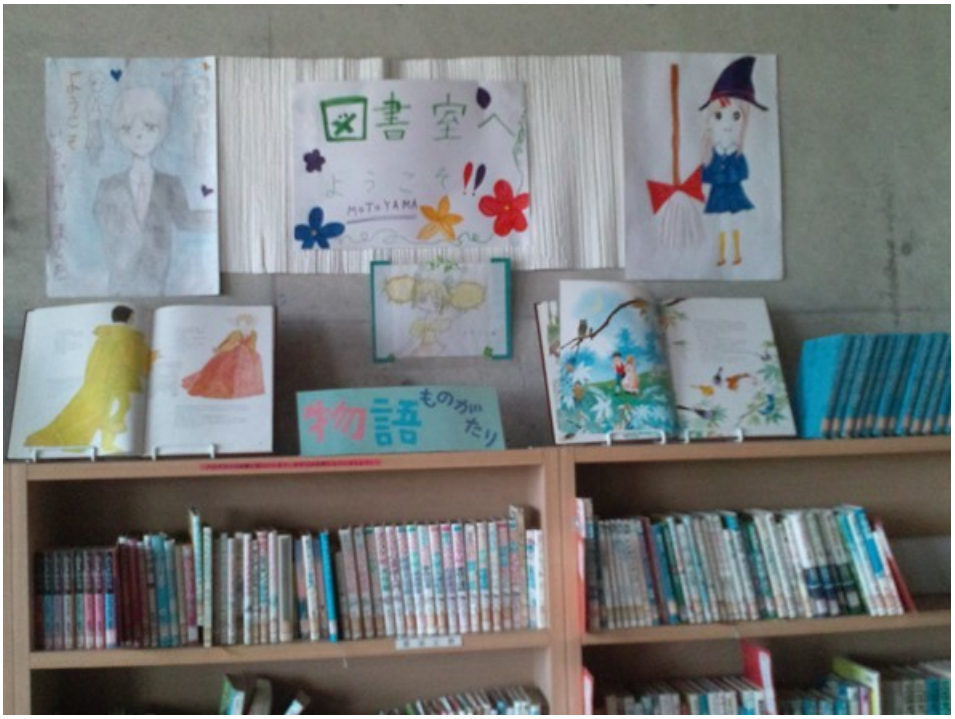
今までは、ビフォア写真の左側に展示台にしていた机がありましたが、それをやめて、書架と並べておいてその上にはミニ本棚を設置。ここは、恐竜本コーナーとなる予定です。

今までは閲覧机の上に置き場所のないダンボール詰めした本がありましたが、これも整理して学級文庫にまわし、低書架を左側に移動し、空いた場所に机ひとつを回転させ、新しく本の展示コーナーとしてみました。ここでは、季節に応じた本の展示や学習に沿った本の展示をする予定です。何となく見通しもよくなったようで、子どもたちの反応が楽しみです。

テーマ③　利用環境改善の工夫

図書館の張り紙の制作

山陽小野田市立本山小学校



読書に来る児童が、感想画の一環として作成してくれたものを、組み合わせて掲示しました。

掲示することにより、一人一人図書館に対する思いが強くなり来館者が増えました。

テーマ③　利用環境改善の工夫

“ホッ”とする図書館

宇部市立厚東中学校

学校生活の中で“ホッ”とする空間が作りたくて熱帯魚や観葉植物、ソファーを置いた。

学校生活の中で疲れた気持ちを癒すことのできる空間の一つでありたいと思っている。

テーマ③　利用環境改善の工夫

夏休みの図書室整備作業の様子を掲示物でお知らせ

宇部市立厚南中学校

after:黒板の上にラティスをつり下げ、その前にテーブルをおいた。

図書委員会だよりで作業の様子を知らせた。

before:図書室前の空間が十分に活用されていなかった。

夏休みに図書委員会や部活動の生徒が、書架の整理や掲示・展示の作業を行った。１万冊以上の本の移動や掲示物の作成・取り付けは大変で数日かかったが、生徒が一生懸命働き、図書室や図書室前が変わっていった。また、技術科の教員はブックスタンドを製作した。作業の様子を写真に撮り、図書委員会だよりとして図書室前に掲示することで、がんばりをたたえ合いたいと考えた。これから図書室を利用する生徒が増えることを願っている。

テーマ③　利用環境改善の工夫

みんなが立ち止まる図書掲示板

山陽小野田市立埴生中学校

図書の掲示板も立派な図書館です！！皆が足を止めて見てくれる様にと月ごとにテーマを決め、立体感のある仕上がりに毎回しています！生徒からの評判もよく、毎月楽しみにしてくれています！！これを機会に図書館へ足を運んでくれればと思います。

テーマ③　利用環境改善の工夫

コンクリートの柱が「読書の樹」に変身！

柳井市立柳井中学校図書室

材質の性格上、掲示にも利用できませんでした･･･

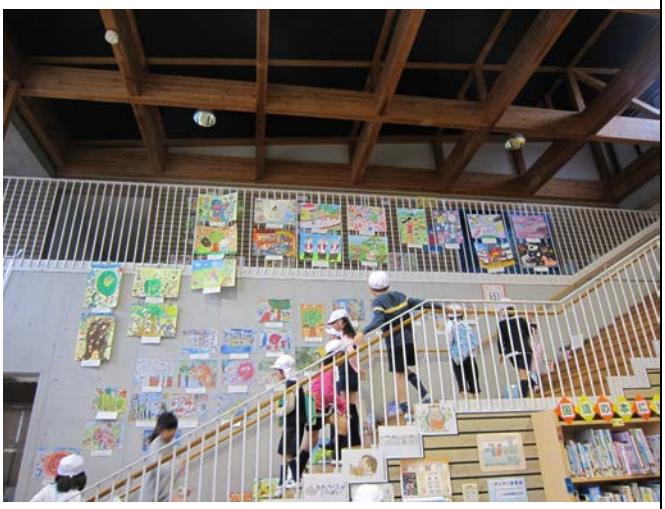
図書室中央にあるコンクリートの柱。この柱が図書室のシンボルツリーだったらどんなに素敵だろうという発想から生まれました。ラティスを利用したので、フックやクリップ、ピンで自由に掲示できるようになりました。青々と葉を茂らせた樹の下には、段ボールを丸くカットした青い海が広がって、図書室の雰囲気を明るく演出しています。

主に新着本紹介コーナーとして利用していますが、積極的に面出ししたこともあり、生徒は真っ先に「読書の樹」の周りに集まるようになりました。

テーマ④　読書推進の工夫

読書祭りで読書感想文・感想画の掲示

柳井市立柳井小学校



入賞作品と本を並べて掲示

図書室での読書祭りの２週間、読書感想文、感想画の入賞作品と取り上げられた本を一緒に並べて掲示した。

友だちの感想文、感想画を間近に見るよい機会になった。

特に、感想画は、階段の壁面にぶら下げて掲示したことで、インパクトもあり、子どもたちが、足を止めよく見ていた。

テーマ④　読書推進の工夫

たてわり読書や読み合いでコミュニケーション能力を育む

山口市立大海小学校

たてわり読書

一生懸命聞いてくれて、うれしいな。

どんな感想を言おうかな・・・・

読んでくれて、ありがとう。

読み合い

お友達のために一生懸命読んだよ。

ぼくが、おもしろいお話が好きと言ったから、この本を選んでくれたよ。
一生懸命読んでくれたから、心が温かくなったよ。

読書をとおしてコミュニケーション能力を育んでいます

〇たてわり読書…１～６年のたてわり班で読書を楽しんでいます。ほんわかとした素敵な時間です。

高学年は、読み聞かせをし、読んだ本（紙芝居）に関するクイズを出します。

中学年は、聞いた感想を発表します。

低学年は、お礼の言葉を言います。

〇読み合い…友達にインタビューして、友達が好きそうな本を選んで、読みます。読んでもらった人は、感想やお礼を伝えます。

テーマ④　読書推進の工夫

全校児童が図書クイズに熱中！

山陽小野田市立厚狭小学校

全問正解でありますように！

図書クイズが張り出されると、連日、多くの児童で大人気になります。

読書月間の１０月には図書室前の廊下に図書クイズを張り出します。答えは本を読めばわかるものなので、みんな必死に本を読みます。全問正解者は図書委員が作った可愛いしおりや紙袋、本が２冊借りられる券などの景品があります。毎回大好評です。

テーマ④　読書推進の工夫

全校読書郵便「ぼく・わたしのおすすめ本を読んでね！」

山陽小野田市立津布田小学校

本校に、学校図書支援員が配置された平成 24 年度から、秋の読書週間に全校一斉で取り組み、今年で３年目になります。手紙が届かない子が出ないよう、また、学年に応じた手紙が届くよう、宛先は書かさず、低・中・高で、図書支援員がランダムに振り分けます。自分の手紙が誰に届くのか、誰の手紙が来るのか分からないスリルが、かえって子どもたちのワクワク感を高め、意欲的に取り組めています。

秋の読書週間が近づくと、読書の時間も、どの本をおすすめしようか考えながら、より一層読書に熱が入った姿が見受けられます。

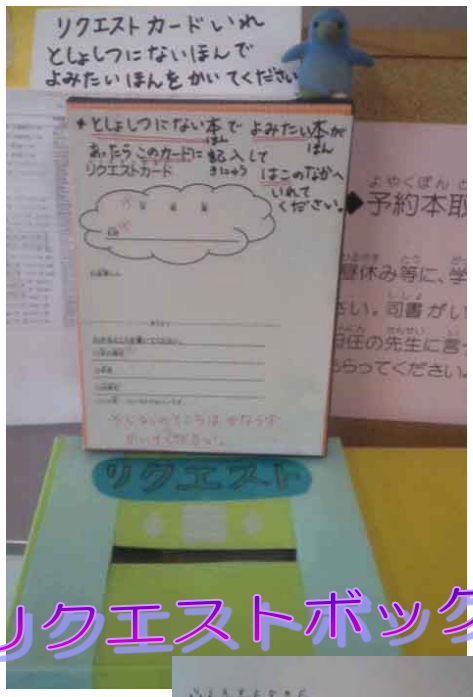
手紙の配達、返事を入れるポスト作りなどは、ライブラリー委員が、委員会活動として活躍します。

印象に残った場面を絵に描いてもらうようにしているため、色鮮やかなお手紙が届き、子どもたちは嬉しそうです。子どもたちにとって、友だちの勧める本は、先生や図書支援員など大人が勧める本とは違う、特別な意味合いを持つようです。

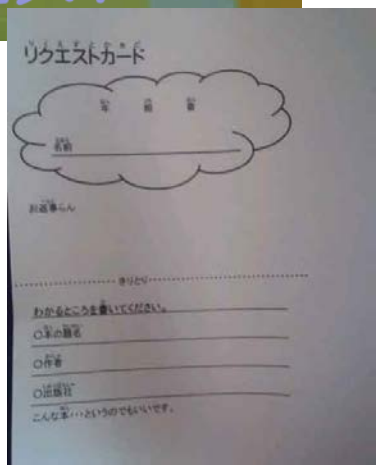
テーマ④　読書推進の工夫

予約・リクエストをはじめました

平生町立平生小学校



リクエストボックス



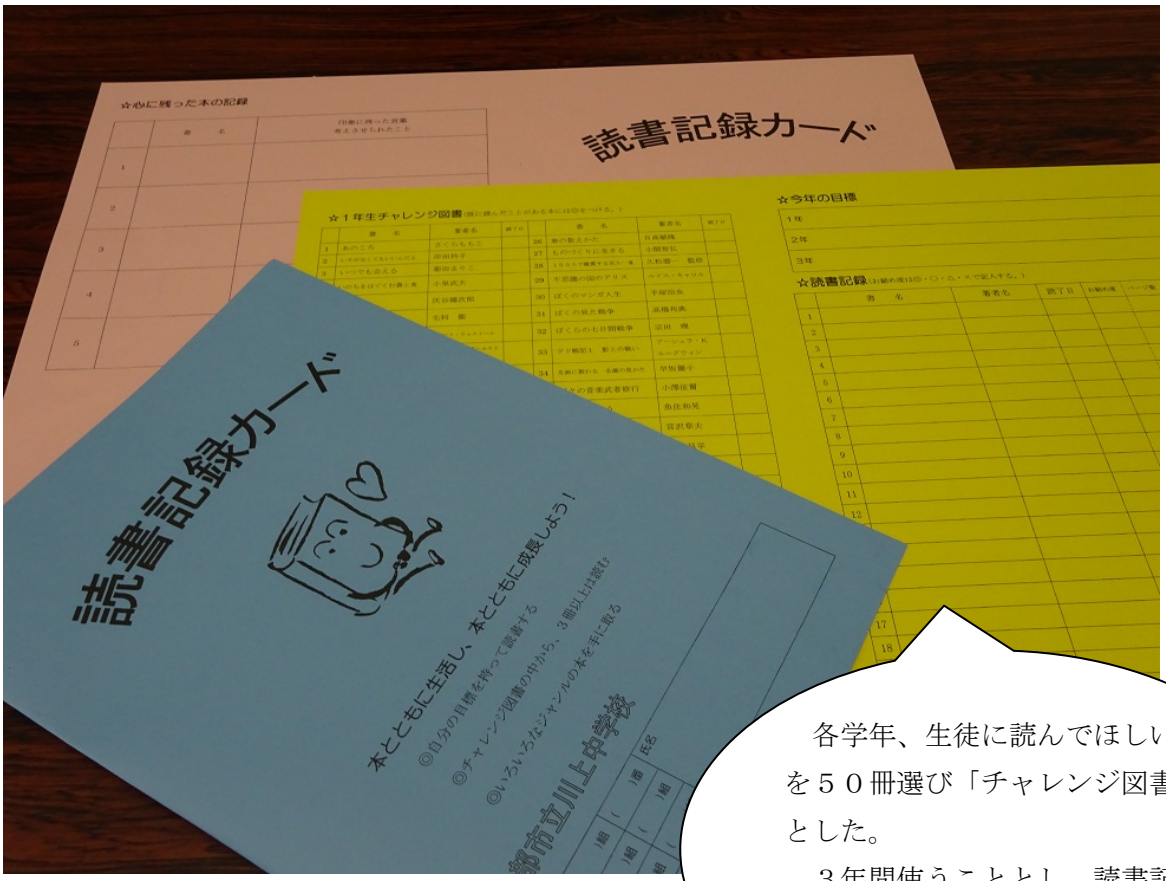
予約本取り置きコーナー

今まで予約・リクエストサービスは実施していませんでしたが、子どもたちが読みたい本を少しでも読める環境を作るために思い切ってはじめてみました。予約は、新刊で入った本の一部で予約できる図書を何冊か決めて、本を展示し、予約票をつけ、子どもたちに自由に名まえを書いてもらいます。それから司書がパソコンの管理システムで予約処理をし、順番の来た児童に予約お知らせカードを担任の先生を通じて渡し、借りにきてもらっています。リクエストは、図書の購入時に子どもたちに自由にリクエストカードを書いてもらって紙箱で作ったリクエストボックスに入れてもらいました。要望の多かったものから購入を検討。子どもたちにはお返事欄にコメントを書いて渡しました。

テーマ④　読書推進の工夫

読書記録カード

宇部市立川上中学校



各学年、生徒に読んでほしい本を５０冊選び「チャレンジ図書」とした。

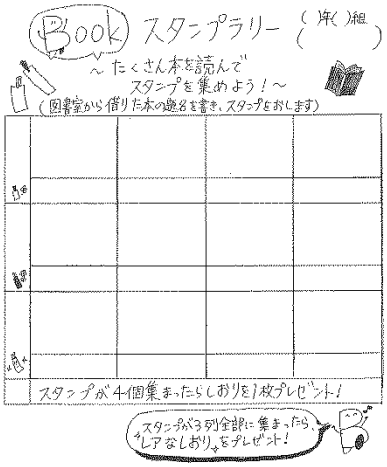
３年間使うこととし、読書記録の欄が足りなくなったら紙を貼って追加できるようにしている。

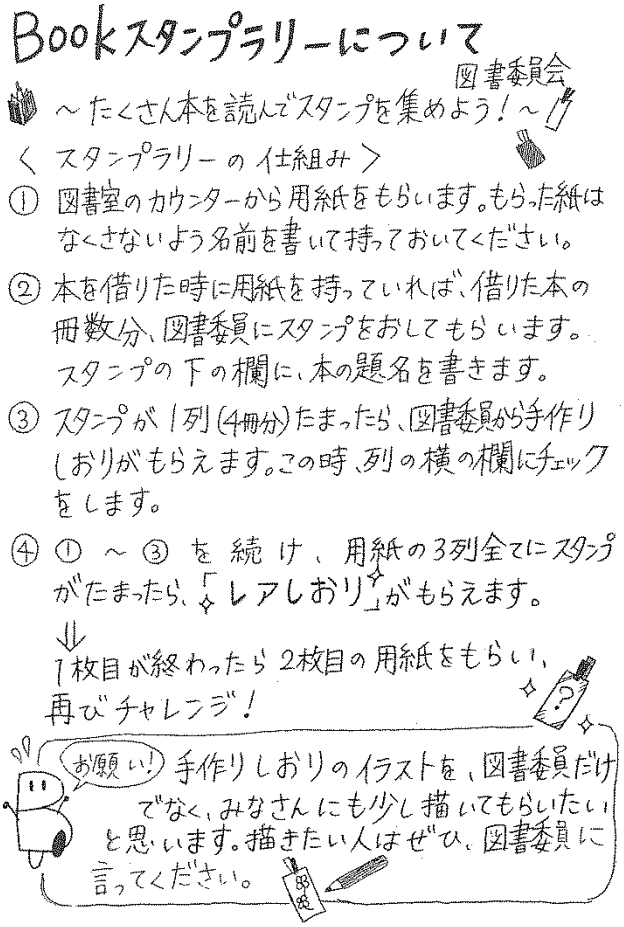
図書館のデーターベース化により生徒の個人カードに代わるものとして、「一人ひとりが本を身近なものとし、目標をもって読書に取り組んでほしい」そんな願いを持って作成した。

テーマ④　読書推進の工夫

Bookスタンプラリーについて

宇部市立楠中学校





Bookスタンプラリーについて

図書委員会

～たくさん本を読んでスタンプを集めよう！～

＜スタンプラリーの仕組み＞

① 図書室のカウンターから用紙をもらいます。もらった紙はなくさないよう名前を書いて持っておいてください。

② 本を借りた時に用紙を持っていれば、借りた本の冊数分、図書委員にスタンプをおしてもらいます。スタンプの下の欄に、本の題名を書きます。

③ スタンプが1列（4冊分）たまったら、図書委員から手作りしおりがもらえます。この時、列の横の欄にチェックをします。

④ ①～③を続け、用紙の3列全てにスタンプがたまったら、「レアしおり」がもらえます。

⇓

1枚目が終わったら2枚目の用紙をもらい、再びチャレンジ！

お願い！ 手作りしおりのイラストを、図書委員だけでなく、みなさんにも少し描いてもらいたいと思います。描きたい人はぜひ、図書委員に言ってください。

図書委員会で、どうすればもっとみんなに学校図書館を利用してもらえるのか考えました。

そこで、スタンプラリーを行うことになりました。さらに委員以外の人も手作りしおりの作成を手伝うことで、ラリーへの興味が高まったようです。レアものは特に人気で、貸出冊数が大幅に増えました。

テーマ④　読書推進の工夫

図書館情報の掲示

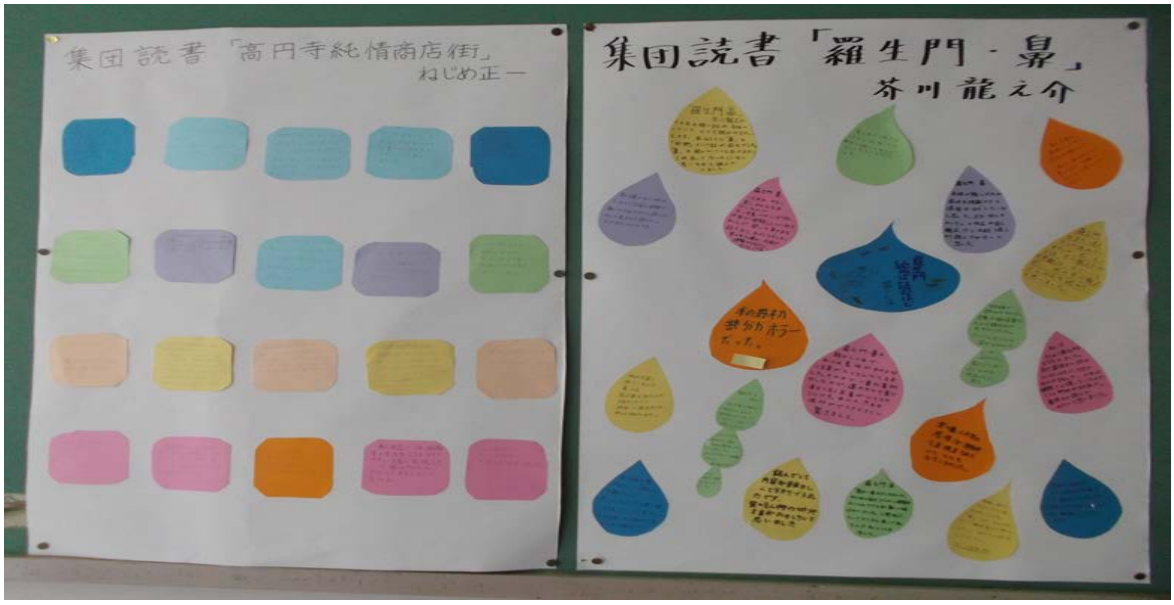
岩国市立美和中学校

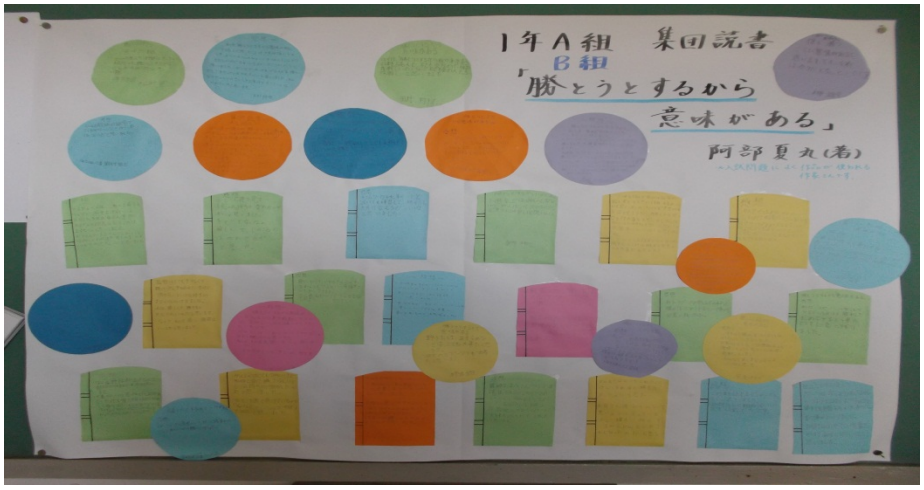
生徒たちが図書室に興味をもってもらえるような掲示物を作成しています。図書情報を紹介するための掲示板に入荷予定の本や新刊の紹介などを掲示します。生徒たちの目に止まりやすい階段横のスペースに図書情報があることで生徒たちの来館数が増えました。

テーマ④　読書推進の工夫

羅生門　読めば読むほど　苦しいよ

岩国市立通津中学校





毎朝十五分間の読書を行う通津中学校。文芸委員会では、「みんなが今、読んでいる一冊」「みんなのお薦めの一冊」などを全校生徒に書いてもらって、掲示しています。

また、クラスごとの集団読書も行っています。１学期は、３年生は「高円寺純情商店街」（ねじめ正一）・「羅生門・鼻」（芥川龍之介）、２年生は「ガク物語」（椎名誠）・「彼女のアリア」（森絵都）、１年生は「勝とうとするから意味がある」（阿部夏丸）を読みました。

表題は、３年生の感想より「羅生門　読めば読むほど　苦しいよ・・・」　でも、頑張って読んでくれるので、続けたいと思います。

テーマ④　読書推進の工夫

おすすめの本紹介　お花のジャンルポケット

山陽小野田市立厚陽中学校

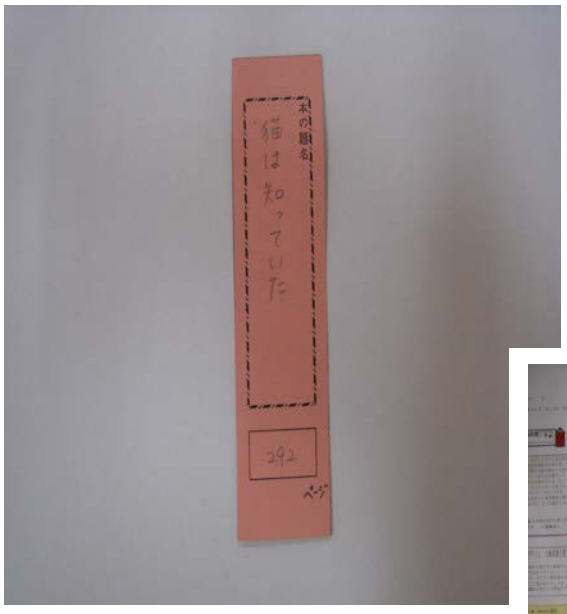
図書委員会の呼びかけで、おすすめの本紹介を書いてもらいました。おすすめの本をジャンル別に分け、お花のポケットに入れ、掲示しています。「どの本読もうかな」という時に、ジャンル別に分けられたおすすめの本の紹介カードを読むことができます。

教室の近くに設けられたミニ図書コーナーに掲示しています。

テーマ④　読書推進の工夫

読書の記録にしおりを活用

山陽小野田市立厚陽中学校



読書の記録を簡単につけられるように、しおりを活用しました。

読書している間は、本にはさみ、読み終わったら、本の題名、ページ数、自分の名前を記入して、教室にある自分の読書ポケットにいれるようにしました。

読んだ本のページ数を記録し、月ごとにベストリーダーを発表しています。

テーマ④　読書推進の工夫

小中連携で図書室利用をスムーズに！

柳井市立柳井中学校

興味津々の子供たち。
中学校入学前の不安や
戸惑いが軽減されたと
喜ばれました！

小学校では足繁く図書室に通う子どもたちも、中学生になるとなぜか足が遠のいていく現実に頭を悩ましていました。そこで、小学校へ出向き、卒業前の６年生に 20 分程度の出前講座をし、中学校図書室への引き継ぎを行うという試みを行いました。

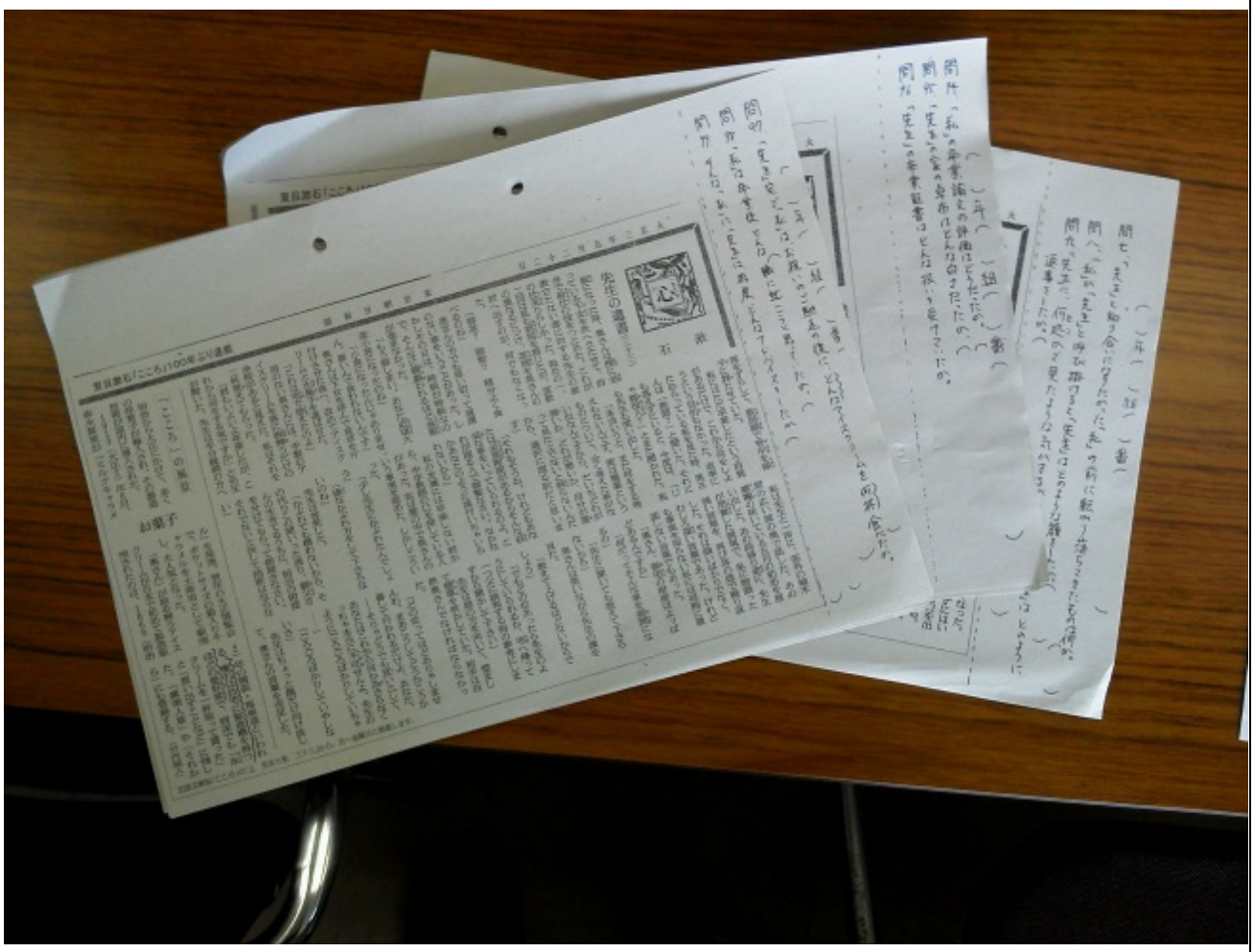
まず、中学校の国語の教科書の紹介から始め、次にブックトークの実演、図書室の本の紹介、最後に心を休める場所としても利用してほしいという想いを告げて終了しました。

入学後、最初の国語の授業でのガイダンスも功を奏し効果は上々！　今までにないくらい、図書室はいつも子どもたちで賑わっています。

テーマ④　読書推進の工夫

文豪の作品に触れよう～漱石クイズ

山口県立西京高等学校



2014 年 4 月 20 日、『こころ』連載 100 年を記念して朝日新聞に『こころ』が連載されることとなりました。図書委員会の活動として、「『こころ』クイズ」を実施することにし、同日が記念すべき第一号になりました。

クイズは、本文から答が出せるような簡単な問題です。毎回 3 問で、「漱石の漢字の間違いを見つけなさい」とか、「『先生』の水着はふんどしだった。YES か NO か」など。3 週間ごとに図書委員がまるつけと集計をし、成績優秀者にはクッキーを進呈しました。
７月１８日で打ち切りとし、全問正解者３名には図書カードを贈りました。

テーマ④　読書推進の工夫

あなたの記憶に残る「学校でならった詩」は？

山口県立西京高等学校

朝日新聞の「ｂｅ」で「あなたの記憶に残っている学校で習った詩は？～ランキング」という特集記事がありました。さっそくベスト１０に入った詩と、そのほかにもお勧めの詩を書き出し、本の表紙のカラーコピーを添えて掲示しました。歩きながら眺めてもらえるように、図書館の廊下に長々と並べました。普段、詩とはミスマッチな、マッチョな男子高生やそそと澄ました女子高生が、ちらとでも見てくれたらいいな。

テーマ⑤　広報・ＰＲの工夫

展示架の利用

山陽小野田市立須恵小学校

９月のテーマは、

「図書室、大好き」

図書館や本屋さんが

舞台のお話を並べて

います

図書室近くに展示架を置き、１人でも多くの子どもたちがそこから図書室に足を運んでくれるよう展示・掲示を行っています。

季節ごとにテーマを決め、楽しい雰囲気になるよう心がけています。

テーマ⑤　広報・ＰＲの工夫

３年図書委員による学級文庫のお勧め

宇部市立桃山中学校

昼休み時間に開館時間が長くとれない桃山中学校では、学級文庫の選書を工夫して全校生徒に幅広いジャンルの本を読んでもらっています。新潮社が選定した「中学生に読んでほしい３０冊」を全学級に配置し、朝の読書の時間に全校読書として取り組んでいます。「この本のこんな所がおもしろいよ。」といった生徒の口コミが広まって、読書の幅が広がっているように思います。写真は、３年の図書委員が作った本のＰＲです。イラストは、図書委員の中から、美術部の部長さんが担当しました。

テーマ⑤　広報・PR の工夫

図書委員会の作成した図書だよりを大判紙で掲示

左側は２年生に実施したアンケートの集計結果・右側はおすすめの本

岩国市立周東中学校

１学期、図書委員会によるアンケートを実施し、「好きなジャンル」と「好きな作家」について調査した。その結果を集計し、図書便りに掲載することにした。

１人１人に配布するより、掲示した方がみんなに読んでもらえるという声があり、大判紙にアンケートの結果をまとめ、図書委員数名がおすすめの本の紹介をした。

アンケートの結果を反映した図書の購入をするために、図書委員会による選書も行い、２学期は購入図書を学級文庫で回していけたらと考えている。

テーマ⑥　地域との連携の工夫

メルヘンサークルお話の会

山陽小野田市立埴生小学校

「メルヘンサークル」は、本校区にある読み聞かせを中心に活動を続けているグループで、メンバーの中には保護者や地域の方々も多く、子どもたちにとって身近な存在の方たちである。この読書教室は、１年生から３年生までは、１ヶ月に１回程度で実施しており、１０月の読書週間には５年生と６年生までの児童にも実施している。

こうした取組みを通して子どもたちは、それぞれの読書の幅を広げ、すばらしい本の世界へ入っていくよいきっかけとなり、児童の読書量が増えている。